

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 2 度目の韓国 初めての韓国勤務

長崎県島原振興局管理部地域づくり推進課 荒木 忠厚

クレアソウル事務所での勤務は、私にとって2度目の韓国での生活でした。まだ20代のころ、県から語学留学のために韓国の大学への派遣を命じられ、1年間、韓国で生活をしたことがあったからです。

2016年、前年末に、慰安婦問題の最終的かつ不可逆的な解決を確認した日韓合意がなされ、同年には、北朝鮮のミサイル発射数が過去最多を更新するという、朝鮮半島情勢がざわつく中で、初めての韓国勤務となりました。

### 日本の地方の魅力発信

韓国で仕事をするにあたっては、やはり、文化の違いに戸惑うことも多く、また、留学生活1年間のアドバンテージがあったものの、逆にそれが気の緩みとなり、失敗をすることも少なからずありました。

1年目の担当業務に、韓国の著名な漫画家に実際に日本で取材をしてもらうことで、地方の魅力を発信する事業がありました。作家やコラムニストなども含めた多彩な人材の取材団だったこともあり、取材団と受け入れ側の地方自治体等との調整に、非常に苦労した覚えがあります。

各地の取材に同行し、取材団の取材対象へのこだわりと、自治体や観光団体の方々の外国人観光客の誘致に対する熱い想いを、直に感じることができました。



静岡県・駿河湾フェリー内部を見学する韓国の取材団一行

それ以外にも、2年目には、在韓日本国大使館の広報誌への日本の自治体の紹介文の掲載に携わり、2017年当時、韓国・全羅南道求礼郡との姉妹都市締結10周年を迎えた長崎県雲仙市や、九州オルレ（韓国・済州島発のトレッキング）のコースを有する同県南島原市をはじめ、多くの日本の自治体を紹介することができました。

### 信頼できるパートナー

仕事のパートナーとして、最も印象に残っているのは、クレアと全国知事会の機能を併せ持った大韓民国市道知事協議会（通称：GAOK）の皆さんです。気さくな事務局局長の下、日本語が堪能で敏腕のスタッフが多くおり、スムーズに協働することができました。

特に、2017年に、第6回日韓知事会議が韓国・釜山広域市で開催された際には、GAOKの準備や調整の進め方を間近で見る経験ができ、大変勉強になりました。



韓国・釜山で開催された第6回日韓知事会議

### 長崎・島原での実践

帰国した翌年、2019年の7月には、日韓関係の悪化の影響が韓国の地方自治体にも及び、長崎県の友好都市である釜山広域市の当時の市長が、一方的に行政交流の見直しを表明するなど、交流が困難な状況に陥りました。

しかし、同年12月には、さまざまな障害があったものの、長崎市において、対馬海峡を挟んだ日韓8自治体による第28回日韓海峡沿岸市道交流知事会議を開催することができました。

現在、雲仙普賢岳災害で全国的に有名な島原半島にある出先機関に勤務しています。ここでも、海外事務所での経験を活かし、留学生ファミツアーや、サイクルツーリズムの推進など、地域の活性化に取り組んでいます。

### プロフィール

2008年10月 長崎県入庁（土木部まちづくり推進局建築課）  
2015年4月～2016年3月 クレア東京本部経済交流課  
2016年4月～2018年3月 クレアソウル事務所  
2020年4月～ 現職